

平和の記念碑

碑文

街は静かな朝をむかえていた。
昭和二十年八月六日午前八時十五分
人類最初の原子爆弾は広島市に投下された。
鋭い閃光を放ち爆発した原子爆弾は巨大な
火の玉と化し
熱線と爆風をこの街にたたきつけた。
大人も子どもも街と共に消え失せた。
この石は爆心地に近い広島市旧庁舎の
側壁と敷石である。
もの言わぬ被爆の証人として
人々の心に訴えている。
再び戦争というあやまちを
繰り返してはならない…………と



手賀沼公園にある平和の記念碑